

第 4 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 元 年 1 1 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和元年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 小中一貫教育の取組について

まず始めに、小中一貫教育の取組についてであります。11月7日に大阪府堺市で開催された小中一貫教育全国連絡協議会の総会に出席をし、令和3年度小中一貫教育全国サミット開催市として決定を受けてきたところであります。

また、本市開催時において授業公開候補校となる教職員などとともに、11月7日・8日に同市で開催された第14回小中一貫教育全国サミットにも参加し、授業公開、研究協議、全体会、分科会における、実際の運営状況などを視察してきたところであります。

今後、各校における全国サミットでの発表内容の検討をはじめ、大会開催に向けた諸準備を進めることとしているところであります。

2 カナダ・サスカトゥーン市への高校生派遣交流事業について

次に、カナダ・サスカトゥーン市への高校生派遣交流事業についてであります。異文化理解と国際感覚を持つ人材育成を目的として、10月11日から10月19日までの9日間の行程で、高校生9名、引率2名の11名を派遣したところあります。

団員は、サスカトゥーン市内でホームステイをしながら現地の高校生、ホストをはじめ多くの方と交流し、貴重な経験を積むことができたものと考えております。

今後、報告会を予定しており、今回の派遣事業における学びの成果を、市民の皆様に報告することとしております。

3 中山久蔵翁没後100年記念事業について

次に、中山久蔵翁没後100年記念事業についてであります。9月23日に芸術文化ホールにおいて、市民団体「中山久蔵を顕彰する会」の協力のもと、中山久蔵翁没後100年記念シンポジウムを開催したところであります。

シンポジウムには、酪農学園大学非常勤講師の郡司美枝^{ぐんしみえ}氏、中山久蔵を顕彰する会事務局長の村井明^{むらいあきら}氏、明治神宮国際神道文化研究所主任研究員の打越孝明^{うちこしたかあき}氏の三氏を講師にお迎えし、中山久蔵翁の足跡や駅逡所の魅力など、それぞれの専門の観点からご講演をいただいたところであります。

また、9月28日から10月27日の間、エコミュージアムセンターにおいて、中山久蔵翁没後100年を記念したミニ企画展を開催するとともに、10月14日には、同企画展とライトアップされた旧島松駅逡所を巡るバスツアーを実施したところであります。

これらの事業を通じて、当市が誇る偉人の功績やその生涯について理解を深める機会となったと考えているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。